

# おかだ耕一

後援会会報  
No.39  
2008.7.10

http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org

発行/おかだ耕一後援会事務局 〒471-0809 豊田市宝来町4-758-141 TEL/090-1752-7529 (番号通知のみ受信)



## タブーなき挑戦!

また暑い夏を迎える季節になりました。地域の皆様、後援会の皆様には、日ごろから議会活動、後援会活動に対し、ご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、豊田市議会6月定例会が、6月6日から23日までの会期で開催され、天井が落下したスタジアム屋内プールの改修事業費の補正予算や豊田市初のPFI事業(市の施設を民間の資金で整備させ、運営も民間が行い、毎年事業費を市が民間に支払う仕組み)となる交通安全教育施設の事業契約の締結など重要な案件が審議されました。

一般質問では、ある種、タブー視されている「広報とよた」の印刷業者の契約について、切り込みました。納得できる答弁は引き出せませんでした。これからも市民にとって良かれと思うことについては、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

今後さまざまな問題に対しまして皆様と一緒に考え、活動したいと考えております。どうか今後とも、変わらぬご支援、ご指導よろしくお願ひいたします。

### おかだ耕一 平成20年度役職

- ・産業建設委員会 委員
- ・議会基本条例検討特別委員会 委員
- ・予算決算特別委員会 委員
- ・公選法運用委員会 役員

5月臨時会、6月定例会におきましてこれらに選任されました。今年1年頑張っております

## 豊田市議会議員 岡田耕一

### とよた市民の会 市民講座のお知らせ 「後期高齢者医療制度を考える」

市政改革とよた市民の会(代表:おかだ耕一議員)は第4期市民講座「社会保障制度を考える」の2回目として、市職員をお招きして出前講座「後期高齢者医療制度を考える」を開催いたします。国でも大問題となっているこの問題をわかりやすく説明頂きます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

と き:7月12日(土)  
13時30分より15時30分頃まで(受付13時15分~)  
ところ:とよた市民活動センター ホール(松坂屋 9F)  
講師:豊田市医療保険年金課 主幹 末継照之さん  
参加費:無料  
問合先:おかだ耕一 090-1752-7529

### 会報配布ボランティアの募集

おかだ耕一後援会では「おかだ耕一後援会会報&議会報告」を年4回発行しています。現在、約60名の方々のご協力で約2万部を配布していただいております。多くの皆さんに会報を読んでいただくため、年4回、おかだ耕一議員と一緒に美里、高橋、益富地区周辺で配布していただくか、ご自宅の周りの50~500戸ぐらいの郵便受けに配布いただけませんか。50枚~200枚ほどで30分~2時間程度です。配布する地域はご相談のうえ、決めさせていただきます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。ご連絡お待ちしております。(連絡先は4ページへ)

### とよた市民の会 無料法律相談のご案内 ※8月はお休みです

開催日/7月12日(土)・9月13日(土)・10月11日(土)

時間/いずれも午後1時30分~3時

場所/豊田産業文化センター4階

ご予約先 小林おさむ 0565-80-5323

弁護士に無料で相談できます。本年より、完全予約制といたします。ご了承下さい。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

## 小林おさむの ちよつと一言



### ピーク・オイル

ピーク・オイル論とは、石油産出量は、ある時点でピーク(頂点)を迎えると、地理的条件によらず、その後は減少へ向かい、再び回復することはないという説で、1956年にアメリカで発表されました。その説のとおり、アメリカの石油産出量は1971年に頂点に達した後、二度と回復できていません。そして、世界石油産出量においては、2006年以降、オイル・ピークを迎えているのではないかとされるようになりました。その正確な予測は簡単ではありませんが、少なくとも私たちの世代の間にオイル・ピークを越すことは間違いがないようです。

昨今、地球環境問題の話題がマスコミを賑わすようになり、温暖化や異常気象、生物多様性の問題など、様々な警鐘が鳴らされていますが、すべての根幹は、石油がなくなることにあるとの認

識を忘れてはなりません。同時に、石油に代わり得るエネルギーはないという確認も必要です(電気エネルギーとしては、原発が考えられますが、それがかえって人類の滅亡を早めることは、言を俟たないでしょう)。

とすれば、私たちが目指す道は、エネルギー消費量の絶対的削減しかありません。このように言うと、大昔の極めて不便な生活に戻らねばと思いがちですが、先進国のエネルギー消費量が倍加したのはここ30~40年の間に過ぎませんから、1970年代の生活を思い起こせば、とんでもない時代に戻ることはないでしょう。さらに、エネルギー削減の観点からすれば、人口の減少も悪いことばかりではありません。

ピーク・オイルの到来は、経済活動での分け前を増やそうとする方向では一致している、わが国のすべての既成政党の経済政策に根本的な転換を迫っています。

(元愛知県議会議員 小林おさむ)

## 1、「広報とよた」契約の不思議

(答弁は水野総合企画部長)

月に2回発行している「広報とよた」は1回に約155,000部発行。現状の作業の流れは、基本的には広報課で、すべての原稿、画像を入れ込み、ページ構成までをアドビ社のイラストレーター及びインデザインというソフトを使い行っている。そのデジタルデータをUSBメモリにて印刷業者に手渡している。昔と比べ、印刷業者の作業上の手間は格段に減少している。私は、昭和24年の創刊以来、随意契約で継続して1社の印刷業者が独占している状態を異常だと認識し、質問する。



優秀な職員で、ほぼすべての広報制作を行う広報課

### 契約単価は適正か

**質問** 契約書および仕様書を見ると、A4判で4ページ分がカラー、その他は2色刷で、以下のように24ページから2ページ刻みで54ページまでの契約単価が設定されている。この契約単価の積算根拠は。

ページ数	1部あたり単価
24	44.3円(税抜)
26	48.5円(税抜)
3	3
54	83.2円(税抜)

※2色刷をカラーにする場合のページ単価、2色刷との差額はプラス1円

**答弁** 過去の実績に基づき、当該年度の印刷予定部数と、印刷用紙やインク代など、原材料費の価格動向を勘案し積算している。

**質問** 今年度、本市では、原油高騰に伴う用紙の値上がりにより、広報印刷費を約15%引き上げた。その際、類似条件の広報紙の単価表などを入手・比較し、金額が妥当か、検討したか。していないのなら、今後、単価を見直す考えはあるか。

**答弁** 西三河八市の契約状況、契約単価は調査した。平成17年度には、中核市の広報紙印刷の契約状況調査を行った。今年度の契約単価は、消費税を含め、基本的なページ数となる32ページの場合、57,225円である。積算単価は発注条件に差異があり、単純比較できないが、契約金額が他の自治体と比較し、高い状況なので、今後、さらに精査したい。

**調査内容** 他の自治体の状況を調べたので報告する。本市の発行部数約155,000部と同じ部数でページ数、カラーページの枚数など、条件が比較的似ている自治体を紹介する。

(ページ数32、カラー4ページ、2色刷28ページの場合)

	印刷部数	1部あたり単価	155,000部の印刷費
奈良市	154,000部	32.37円(税抜)	5,268,218円(税込)
旭川市	161,000部	34.10円(税込)	5,301,000円(税込)
豊田市	155,000部	54.50円(税抜)	8,869,875円(税込)

(ページ数32、カラー16ページ、2色刷16ページの場合)

	印刷部数	1部あたり単価	155,000部の印刷費
倉敷市	174,000部	13.70円(税抜)	2,229,675円(税込)
豊田市	155,000部	66.50円(税抜)	10,822,875円(税込)

**質問** このような他の自治体との大幅な単価の違いは昭和24年の創刊以来、継続して1社と随意契約してきたからと感じる。競争入札せず、随意契約にしてきた理由は何か。



**答弁** 制作期間は概ね15日以内、自治区へ配布可能であること、この間の事務連絡及び不測の事態にすばやく対応し、広報紙制作業務を最優先し、納期遅延や印刷不良のないことなどが必要。当該業者はこうした業務の対応を確実に果たすとともに、原稿の差し替え、大幅な変更など突発的な事態にも迅速かつ万全に対応し、広報発行に1度も納期遅れや印刷不良がなく、極めて信頼性が高いため、随意契約としている。

**質問** 広報の印刷は市内業者に限定する考えか。他に市内で請け負える業者はないのか。

**答弁** 質の高い広報紙を発行するためには、直接、業者との対面での打ち合わせ、指示、調整が欠かせないため、市内業者に限定して選定している。また、市内業者育成の観点からも市内業者を優先したい。現在の印刷業者は、広報とよた対応の社内体制を充実し、頻りに打ち合わせや調整を対面で行ったうえで、意思疎通を確実にして精度の高い広報紙の印刷に努めている。他の印刷業者は、このような社内体制の確保、納期の厳守などのほか、同等印刷物の実績がないことなど課題があると考えている。

### 競争入札せよ

**質問** 市内でも受注可能な業者もあると思う。私はできれば一般競争入札に、最低でも指名競争入札に契約方法を見直すべきと考える。その考えはないか。

**答弁** 現在の広報とよたの印刷は、習熟した編集・印刷・折込製本技術を有した業者を選定し、随意契約としている。50年以上、広報とよたの印刷を受注し、ノウハウ・施工能力は他に替えがたいので、見直す考えはない。

**再質問** 残念な答弁である。私が調査した17中核市のうち、14市が競争入札を実施している。一般競争入札も2市あった。随意契約の市でも競争見積が2市で、別の1市は企画提案後の随意契約だ。いずれの市でもなんらかの競争原理が働いている。本市は全くその気がない。不思議である。急激な変化を望まないのなら、松山市や刈谷市のように1日号と15日号は別々の契約とし、第一段階として、一方だけでも競争入札する方法もある。地元業者の育成も考え、再度、見解を求める。

**再答弁** 今後、単価の精査を含めて、市内業者の施工能力等の調査を行う。

## 2. 抜本的な補助金等の見直しを求める!

(答弁は柿島総務部長)

愛知県では、22の県内商工会議所のうち9カ所、総額8,000万円に上る不正受給があった。津市では、漁業協同組合で複数の補助金の不正受給があった。多くの補助金を交付している豊田市も他人事ではない。

幸い本市は、好調な自動車産業に支えられ、税収も堅調に推移しているが、「トヨタ自動車は2009年3月期連結決算で、営業利益が前期比の約3割減」との報道もあった。本市の法人市民税への影響も大きい。また、法人市民税は、来年度以降の国税化も危惧される。そうした状況下で、危機感を持ち、市民からお預かりしている大切な血税が適切に使われるよう、私は補助金等をゼロベースから抜本的に見直すことを求め、質問する。



減益報道のあったトヨタ自動車(株)

### 本市の補助金交付の実態は?

**質問** 本市では、企業、NPOなどの各種団体に対して、多くの補助金、交付金及び負担金(以下、補助金等)を助成している。団体への補助金等は事業を精査して、その事業に対して補助しているのか、それとも事業内容は各団体に任せているのか。

**答弁** 豊田市産業立地奨励条例をはじめとした個別条例・規則を設けるものは、対象となる事業をあらかじめ規定している。個別条例・規則を設けない補助制度は、基本的な手続きを豊田市補助金等交付規則に定め、対象事業などは、制度ごとに補助金交付要綱を定めている。法令、契約等による団体への負担金は、市が本来負担すべき事業、経費への支出であるかなど、事業内容を精査したうえで予算措置し執行。団体任せにしている。



補助金交付され企業進出が進んだ花本産業団地

**質問** 団体への補助金等はどのように事業評価し、金額を積算しているのか。

**答弁** 条例、規則、要綱において、補助対象経費、補助率、限度額など、その算定基準をあらかじめ規定している。審査内容は、法令適合性、費用対効果、補助目的に対する補助対象経費・補助率・補助限度額の適正さなどである。

**質問** 交付団体に対する補助金等の使途・執行金額に関するチェック体制はどうなっているか。

**答弁** 補助事業の履行確認は、規則で実績報告書の提出を義務付け、書類審査している。必要に応じて現地調査、帳簿等関係書類の原本確認も行っている。

### 第三者機関を設置し、抜本的に見直せ

**質問** 20年度の予算編成時に、補助金等を見直し、計3,000万円を減額した。この見直しはどのような手順、組織で行い、結果をどのように予算に反映したのか。

**答弁** 平成17年度に市民を対象とする事務事業について行政評価を実施し、補助金、交付金、負担金を含む見直し対象となった事務事業について、20年度末を期限に改善に取り組んでいる。補助金見直しの取り組みとして、補助金交付要綱は3年を限度に期限を定め、更新時には、職員で構成する「豊田市委託・給付事務効率化委員会」で審査を

行う。20年度予算編成に向けた同委員会での審査は、19年度末に期限を迎えるもの、新たに補助制度を設ける予定のもの、補助制度の改訂を行う予定のものを対象とした。法令適合、費用対効果、補助目的に対する補助対象経費・補助率・補助限度額の適正さなどに加え、17年度行政評価結果を踏まえた審査を行った。

**質問** 他市では、公募市民も参加する第三者機関を設置し、補助金等の見直しを進めているところも多い。本市も第三者機関を設置し、見直しを進めるべきだ。その考えはないか。

**答弁** 17年度の行政評価は、行政経営懇話会による第三者評価を取り入れた。委託・給付事務効率化委員会での審議でも、行政評価結果を踏まえた審査を行った。今後もより効率的・効果的な補助制度を構築するため、市民目線での意見も反映できる有効な方策を引き続き研究する。

**再質問** 研究するという、まだまだ消極的な答弁だ。私が訪問した大阪府寝屋川市、京都府向日市はじめ、インターネットで検索すると多くの自治体が



お世話になった寝屋川市企画政策室の溝口課長(左)と前川室長

第三者機関により補助金等の見直しを進めている。寝屋川市では、平成14年度に補助金検討委員会を設置し、総額約7,200万円を予算へ反映している。向日市でも補助金等検討委員会を設置し、予算へ反映している。近隣では尾張旭市が補助金等審査委員会を設置し、改善を進めている。再度踏み込んだ積極的な答弁を求める。

**再答弁** 盛岡市などの中核市のいくつかでも第三者機関による見直しを実施していることは承知している。今後、効果的な補助制度となるよう有効な方策をいろいろな角度から研究したい。

### 各自治体の補助金等見直し検討委員会の(最終報告)答申状況

	設置時期	検討組織	審議件数	見直し要改善	変更・切替	廃止	終期設定	縮減	削減額
寝屋川市	15年2月	第三者機関	134	11	39	18			17、18年度実績約7,200万円
向日市	17年5月	第三者機関	116		2	5	21	42	18、19年度実績約7,800万円
尾張旭市	18年7月	第三者機関	72		3	7		3	20年度予算約1,000万円
盛岡市	16年7月	第三者機関	309	129		17	28		現在進行中
豊田市	昭和60年より毎年	庁内組織	137	33		33			20年度予算約3,000万円

※自治体によって区分の仕方が若干違うため、大まかに区分しています。検討組織名称もそれぞれ違います。

### 3、豊田スタジアムを活かしたまちづくりの会は必要か？

(答弁は加藤教育次長)

#### まちづくりの会は官製団体か？

**質問** 豊田スタジアムを活かしたまちづくりの会(以下、会)は、市民が自発的に設立したものか、それとも行政が主導したものか、設置の経緯、目的を伺う。

**答弁** 平成6年に大規模球技場建設要望書を提出した(財)豊田市体育協会、連合愛知豊田地域協議会と豊田商工会議所、豊田青年会議所を含めた4団体が平成8年に自発的に「大規模球技場を生かしたまちづくりを推進する会」を設立した。平成13年の豊田スタジアムの完成後は、中央公園・豊田スタジアムの利活用の促進を図り、まちづくり、スポーツ文化の振興を図ることを目的に活動を続けている。

(まちづくりの会 19年度事業概要)

(別表)

協賛・協力	金額	備考
ふれ愛フェスタ2007	20万円	
第39回豊田おいでんまつり	11万円	
第8回豊田国際ユースサッカー大会	15万円	
産業フェスタ2007	20万円	
豊田雪まつり	15万円	
会員への入場券配布		
FIFAクラブワールドカップジャパン2007	20万円	100枚
グランパス開幕戦	56万円	200枚
各事業への運営協力		
100万本の花プロジェクト	約166万円	
グランパス練習見学会	約20万円	2回実施

**質問** 協賛・協力金は、会を通して支出しなくても市の補助金として直接助成すればいい。また、入場券を会員に配布することは必要ない。4団体から合計40万円は寄附されているが、会員個人からは1円の会費支払いもない。このような状況で約40名の会員に300枚もの入場券を配布するのは問題だ。これら事業、金額の妥当性について見解を求める。

**答弁** 会が支出している各イベントへの協賛・協力金は、市民参加によるまちづくり活動を行っているこの会が実施

することにより、多くの民間への波及効果と盛り上がりも期待できる。会員への入場券配布は多数の構成員を抱える会であり、会員の各所属団体への活用を図るとともに、会員から友人への輪を広げ、スタジアムへより多く来て頂く、誘導策と考えている。いずれも広報啓発活動として実施し、補助事業、金額ともに妥当と判断する。

#### 補助事業を移管せよ

**質問** 別表のように、豊田スタジアム100万本の花プロジェクトへの運営協力も行っている。これには(株)豊田スタジアムが138万円負担し、会からは166万円負担。グランパスの練習見学会は2回行い、約20万円執行。計60名の子どもたちが参加され、いい事業だと思うが、いずれの事業も、会が行う必要はない。これらの事業に対し、財政支援が必要なら、(株)豊田スタジアムの事業として実施すればいい。見解を。



平成20年2月17日 菜の花開花イベント

**答弁** 現在のところ、補助事業の移管は考えていない。

#### まちづくりの会への補助金は不要!

**質問** 会の20年度の総事業費は410万円。そのうち市からの助成は350万円、実に85%が補助金。会員からの会費は0。また、会への11年からの補助総額は5,450万円。市民の自発的な団体というのなら会費収入を第一に考え、市からの助成に頼らず、財政的に自立すべきと思うがどうか。

**答弁** 中心市街地を含めたスタジアム周辺の利活用は、まだ十分とは言えず、多くの市民、関係者の声を活かしていく必要がある。市民により自発的にできたこの会は、本市にとって有用であり、市の支援は必要であると考えます。

### ここが聞きたい! 議員? 豊田市政?

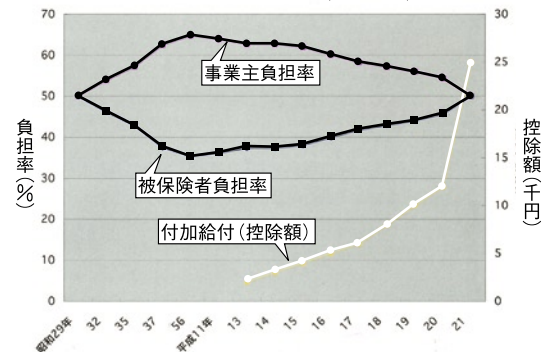
市民の疑問におかだ議員がお答えします

おかだ議員が取り組んでいた市職員の健康保険組合の問題が、先日、新聞に載っていましたが、改善されたのですか?

**コメント** 豊田市職員が加入する愛知県九市健康保険組合は、事業主負担(税負担)が多く、また、他の健康保険組合に比べ優遇され過ぎていることから、元市議長の篠田忠信さんと私が、改善に向け継続して取り組んできました。

平成19年11月28日、愛知県九市健康保険組合運営改善委員会は保険料率の負担割合(20年度は事業主37.5/1000:被保険者31.5/1000)を21年度中に折半負担とすること、その月に一定額以上の医療費負担をした場合に医療費が戻ってくる付加給付(20年度は12,000円)については厚生労働省が示している控除額25,000円という指針を尊重し、見直しを行う、などを答申。また、20年1月30日に愛知県都市職員共済組合に対し、編入の申し入れを行い、同日付で編入の承諾を得たとのことです。

保険料負担率と付加給付(控除額)の推移



おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店(普通) 1113815 おかだ耕一後援会

郵便振替 口座番号 00820-9-205061 おかだ耕一後援会

カンパいただいた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申しあげたいため、ご一報下さるようお願い致します。※政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

TEL/090-1752-7529

(番号通知のみ受信)

FAX/88-9194

(こーいち)

http://www.ko1.org/

E-mail:okada@ko1.org

市政に関するさまざまな疑問・質問・要望・情報等お気軽にお寄せください。